

(仮称) 科学と自然の散歩みち

基本計画概要版



経緯

ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊博士が、平成15年1月7日の杉並名誉区民の称号贈呈式で「気持ちよく散歩できる近所の遊歩道を周回できるようにして欲しい。区民の人たちがのんびりと歩き、すれ違う人と「いいお天気ですね」とあいさつする、子どもも遊んでいる、そうしたなかで一回りできたら楽しい。」と述べられました。

このことを受け、区では、小柴博士のノーベル賞受賞と杉並名誉区民の称号贈呈の記念事業として、(仮称)「科学と自然の散歩みち」(以下、散歩みちと表記)の整備を進めることとしました。

この整備の進め方は、科学館・妙正寺公園・妙正寺川・井草川遊歩道などの地域の貴重な資源を生かした「散歩みち」を、小柴博士や地域の方々に懇談会を設置し、地域のみなさんの意見を伺いながら事業を行うこととしました。

(仮称)「小柴博士の科学と自然の散歩みち」を検討する懇談会は、平成15年5月15日に発足し、地域の方々の意向調査を行い、「散歩みち」の考え方を練り、11月11日、懇談会から区長に提言書を提出しました。

区は、この提言を受け、「散歩みち」の基本計画を策定しました。

下井草・清水地域のすがた

散歩みちを計画している下井草・清水地域には、井草川遊歩道、妙正寺川、屋敷林などの貴重な自然や、妙正寺公園などの公園・緑地も多く分布しています。また、科学館をはじめとした公共施設や、妙正寺・中瀬天祖神社などの歴史的な施設も多数立地しており、これらの貴重な資源を生かした整備を進めます。



妙正寺公園



井草川遊歩道



妙正寺川



井草森公園



科学館



長屋門

小柴博士の想い

小柴博士が、第2回懇談会にアドバイザーとして参加されたときのお話です。

「私、杉並へ越して参りまして、17年ぐらいになりました。杉並区はいいところだなと思っています。最近、筋肉が弱ってあまり散歩に出られませんが、遊歩道の周りをよく歩いていたときに、車が多い車道に出ていかなければならない。もし、ぐるっと回れるようだったらさぞかしいいなあと感じていました。名誉区民の称号贈呈の時に、この散歩みちのことを話したら、皆さんで考えてくれることになり、有り難いことだなあと感じています。散歩みちについては、皆さんが相談して下さって、きれいにさせていただけるのなら、こんなにうれしいことはありません。歩きながら子どもと会ったり、四季折々の花を楽しんだりできたらいいなと思っています。」

また小柴博士からは区へ次のようなお話もいただきました。

「自然のままのみちで、のんびり歩きたい。」

「科学という言葉にこだわらないで、自然であれば良い。」



散歩みちの考え方

小柴博士の思い

安全に一回りしたい
地域の方々とあいさつをしたり、子どもも遊んでいる
四季折々の花を楽しんだり、自然のままのみちでのんびり歩きたい

地域のすがた

下井草・清水地域の貴重な資源

地域の声

(意向調査や懇談会での意見)

ルートや整備内容に対する要望

散歩みちの考え方

地域の方々や小柴博士がよく散歩するみちを主体として、
地域の資源をつなぎ、誰もが楽しく周遊できる散歩みち

地域を結ぶ5つの輪づくり

【安心の輪】

周回ができ、
誰もが安心して歩ける

安全性の高いルート
周回ルート
安全対策
案内板等の設置

【緑の輪】

緑が連続し、
心地よく散歩できる

既存の緑を活用した
ルート
連続した緑化

【喜びの輪】

小柴博士の功績を称え、
地域の誇りを感じる

小柴博士がよく散歩している
ルート
モニュメントの設置

【ふれあいの輪】

住民同士が、
ふれあいを深められる

地域の方々が散歩したり、
散歩したいルート
地域の方々が活用できる
場所の提供
休憩場所の設置

【協力の輪】

住民が中心となって
守り育てていく

住民相互の協働
協働できるルールづくり



安心の輪



安全対策



ふれあいの輪



地域活用場所



休憩場所

(仮称)「科学と自然の散歩みち」ルート



緑の輪



緑の連続性



喜びの輪



モニュメント

メインルート(約7km)

サブルート(約5km)

<メインルート>

井萩川遊歩道、妙正寺川河川通路、水路敷(遊歩道)などの安全性の高い歩行系道路を主体として、公園や屋敷林など緑を結ぶ周回ルートをメインルートとして設定します。

<サブルート>

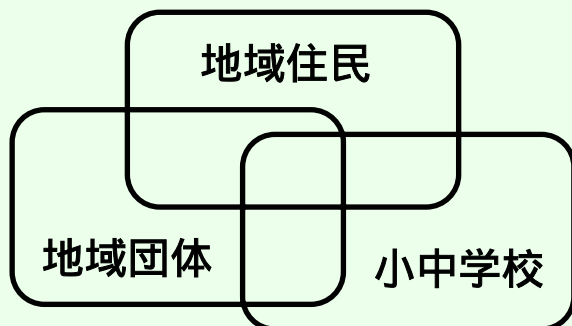
メインルートを補完するために、メインルートから周辺の施設へ向かう安全性の高いルートをサブルートとして設定します。



散歩みちを守り育てていくために

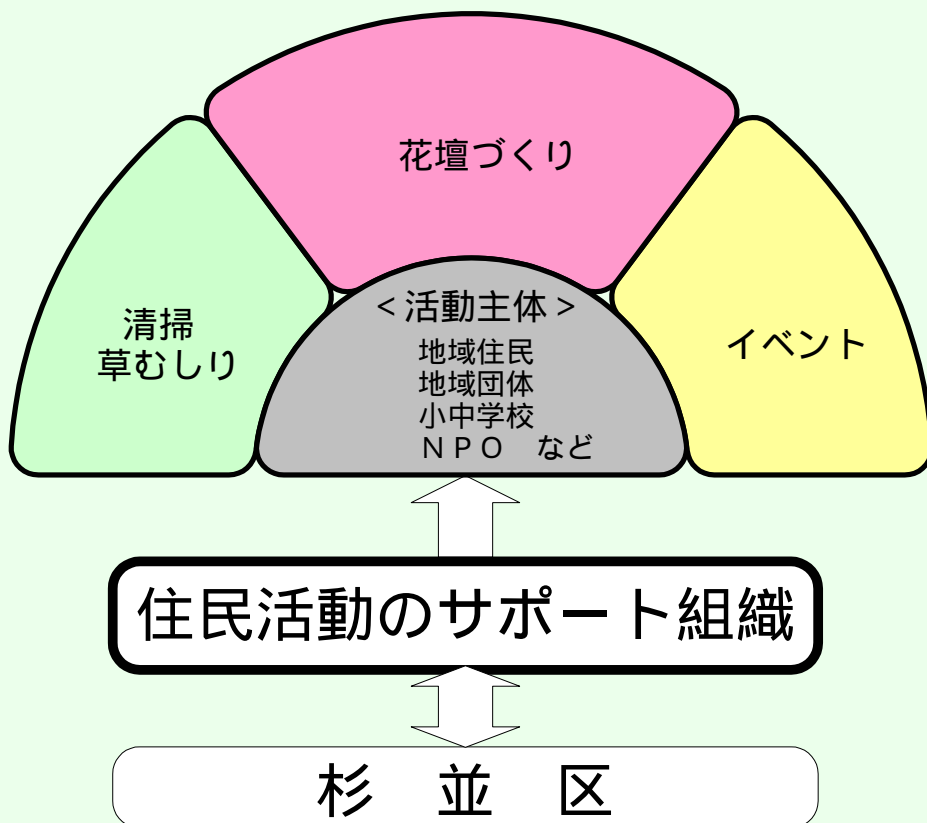
住民同士の協働

散歩みちを守り育てていくために、清掃や花壇づくり、イベントなどを地域住民、地域団体、小中学校相互の協働で行うものとします。



ルールづくり

アダプトプログラム（里親制度）などを導入して、地域の方々が協働できるルールづくりを行います。



杉並区役所都市整備部建設課
電話 03-3312-2111 内線 3425

平成16年1月



古紙配合率100%再生紙を使用しています